

留学情報誌

# Global グローバルネットワーク Network

# IEC

International Exchange Center

名市大生の海外留学を応援します!



## 国際交流センターからのメッセージ

名古屋市立大学は、国際交流センターを中心として、国際競争力を高めるために留学生の受入や本学学生の派遣、海外の研究者との共同研究支援など国際化を推進しています。

まず、本学で学ぶ学生向けに、海外留学について考えるきっかけづくりや、国際交流に参加する機会の提供を行っています。協定校を中心とした海外の大学への派遣留学プログラム・研修に加え、国際機関などへのインターンシッププログラム、文部科学省官民協働留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN 新・日本代表プログラム」への参加に関するサポートを行っています。

また、本学で学ぶ外国人留学生に対しては、日本での留学生生活がより充実したものになるように、留学生宿舍の運営、企業寮の紹介、奨学金手続き、地域との交流、日本語学習のサポート等を行っています。日本人学生と留学生の交流促進のため、留学生交流会、昼休みに留学生の現地の言葉で楽しく懇談するTALK TIMEなどを開催しています。また、名古屋市内の小・中学校、高校の訪問、絵本読み聞かせなどを通して地域との交流の懸け橋にもなっています。

新型コロナウイルス感染拡大により、2020年春から中断を余儀なくされていた渡航を伴う交換留学ですが、2022年より再開し参加者数もそれ以前の水準を回復しています。コロナ禍においても、本学における外国人留学生数は拡大を続け、新たな海外協定校の設置も進みました。

国際交流センターでは今後もさらにすべての学生・教職員に国際交流の輪が広がるようにサポートします。

## 目次

国際交流センターからのメッセージ／目次	2
名古屋市立大学 国際交流センターの紹介	3
留学に向けての準備	4
2025年度 留学説明会等スケジュール(予定)	5
名古屋市立大学 協定校留学・インターンシッププログラム	6,7
留学・インターンシップ体験談	8,9,10,11
トビタテ! 留学JAPAN・留学費用について	12
学内の留学サポート	13,14
外国語の各種資格検定	15
留学生との交流	16,17
2024年度 国際交流センター活動報告	18
名古屋市立大学 国際交流協定校一覧	19

## 名古屋市立大学 国際交流センターの紹介

滝子キャンパス3号館1階にある国際交流センターは海外の大学や研究機関との交流を推進するため、教員の海外派遣や外国人研究者の受け入れを行うほか、海外の大学との学術交流協定の締結を促進しています。また様々な期間・内容の留学プログラムを実施し、学生の海外派遣も積極的に行っています。

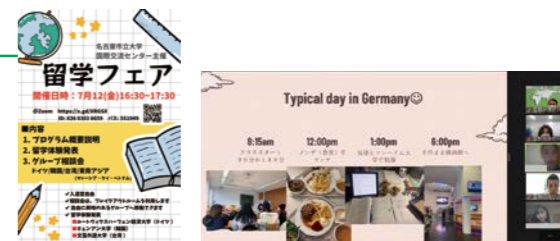
### 国際交流情報の発信

留学・奨学金情報や国際交流イベントの情報を内外の掲示板及び大学ウェブサイト(トップ>国際交流・留学)に掲出しています。また、国際交流を推進するために結成された本センター公式学生団体「NCU GO!」・「よいしょ」のイベントも発信しています。



### 留学相談

スタッフが協定校留学をはじめとする学生の海外留学の相談に応じています。国際交流センター主催で、毎年2回、留学フェアを開催しています。また、短期語学研修説明会も適宜開催しています。



### 語学教材貸出・資料閲覧

英語教材のほか、中国語・フランス語・ドイツ語など第二外国語の教材も幅広く揃えており、貸し出しをしています。その他、週1回発行の英字新聞 The Japan Times Alphaも閲覧できます。



### 外国語 Talk Time

昼休みに交換留学生による「Talk Time」を実施しています。センターでは中国語、ドイツ語、韓国語トークタイムを実施しています。



### 留学生交流

留学生と日本人学生が交流する機会として、留学生交流会や留学生ウェルカムパーティ、日本文化体験等のイベントを行っています。



## 留学に向けての準備

留学について興味があれば、1年生の時から説明会へ参加したり、国際交流センターへ情報収集や相談に来てください。語学学習も早めに始めて留学に備えましょう。留学をしたい・留学後にこうなりたいという夢があるのであれば、実行に移しましょう。

### 留学のステップ図

〈留学前〉



〈留学後〉



### 留学時の単位について

留学前に各所属の国際交流担当の教員や指導教員、各学部事務室の教務担当窓口でよく相談するようにしてください。

**在学留学** 大学間・学部間協定に基づく留学で修得した授業科目の単位は、所定の基準による審査のうえ、本学の授業科目の単位として認定が可能です。ただし、認定基準は学部・研究科によって異なります。また、どのような授業科目を履修してもすべて認定されるということではありません。

**休学留学** 一部のプログラムでは例外的に留学期間中の休学が認められる場合があります。学期の全期間をととして休学が認められた場合は、その学期にかかる本学授業料を納付する必要はありませんが、留学先で修得した単位は認定されません。

**私費留学** 留学期間中の在学状態(在学/休学)に関わらず、留学先で修得した単位は認定されません。

### 留学のタイプ

#### 交換留学

本学と協定締結校の双方が相互に学生を交換し合う制度です。留学先大学での学費が免除される上、各学部・研究科の単位認定基準に基づき、留学先大学で修得した単位が本学で修得した単位として認定されます。

#### 派遣留学

本学から協定締結校に学生を派遣する制度です。派遣学生は、学内選考により決定します。プログラムにより、派遣期間、学費免除の有無、応募資格等が異なります。

#### 短期研修・実習

2週間～1ヶ月程度現地で外国語を集中的に勉強する語学研修や、病院臨床実習などがあります。短期間なので事前にしっかりと準備をしておくことで満足の結果が得られるでしょう。

#### インターンシップ

本学には国連機関やディズニーワールドで働くプログラムがあります。海外での就労経験を積むことで、留学とはまた違った国際感覚を身に着けることが出来ます。

## 2025年度 留学説明会等スケジュール (予定)

※国際交流センターでは、留学説明会の実施や告知を行っています。説明会の日時や場所につきましては、国際交流センター掲示板や大学ホームページ内「国際交流・留学」ページ、学務情報システムなどでお知らせしますので、随時最新情報を確認してください。

	日程	実施内容	対象	応募締切	派遣期間	備考
前期	4月	2025年度国連食糧農業機関 (FAO) インターンシップ説明会	全学部・全研究科 (大学4年生以上が望ましい)	5月下旬	派遣期間は3ヶ月～ 派遣時期は派遣部署による (9月以降)	
	4月～5月	2025年度夏季短期研修説明会・ 募集開始(全学募集のプログラム)	全学部	4月中旬 ～6月中旬 プログラムにより異なる	2025年8月～9月 (2～4週間程度)	
	4月中旬 ～5月中旬	2025年度バレンシア(ディズニー) 国際カレッジプログラム	経済学部・人文社会学部	説明会時に 掲示	2026年2月～8月(約6ヶ月)	全国で選考
	6月上旬	2025年度バックネル大学 日本語ティーチング・アシスタント (TA) 奨学生制度説明会	人文社会学部 国際文化学科	説明会時に 掲示	2026年8月中旬 ～2027年5月中旬(9ヶ月)	
	6月中旬	2025年度ニューサウスウェールズ 大学 (UNSW) 交換留学説明会	経済学部・人文社会学部 2年生以上 及び経済学研究科 ・人間文化研究科	7月中旬	2026年2月中旬～11月(9ヶ月)	
	7月中旬	留学フェア	全学部・全研究科			Zoom
	8月中旬	2025年度交換留学募集開始	全学部・全研究科	9月中旬 ～10月上旬 (留学プログラム による)	2026年2月または3月出発 (半年もしくは1年間)	掲示・WEB・学務情報等 による案内
	後期	10月上旬 ～中旬	2026年度バレンシア(ディズニー) 国際カレッジプログラム	経済学部・人文社会学部	説明会時に 掲示	2026年8月～2027年1月(6ヶ月)
2月上旬		留学フェア	全学部・全研究科			Zoom
2月中旬		2026年度交換留学募集開始	全学部・全研究科	3月下旬 ～4月中旬 (留学プログラム による)	2026年8月または9月出発 (半年もしくは1年間)	掲示・WEB・学務情報等 による案内
2月上旬		2025年度南カリフォルニア大学 (USC) 臨床薬学研修説明会	薬学部5年生以上 及び薬学研究科	研修説明会時 に掲示	7月～8月(2週間)	

# 名古屋市立大学 協定校留学・インターンシッププログラム

## 全学募集のプログラム

詳しくはP13を  
チェック!

	プログラム名	国名・地域名	派遣期間	派遣人数	応募要件等	備考	奨学金対象
交換留学	ハルリム大学	韓国	・半年 ・1年間	2名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	南ソウル大学	韓国	・半年 ・1年間	3名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	忠南大学	韓国	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	チュンアン大学	韓国	・半年 ・1年間	2名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	中央民族大学	中国	・半年 ・1年間	3名	一定以上の中国語能力を有すること	※	○
	文藻外語大学	台湾	・半年 ・1年間	3名	一定以上の中国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	台北市立大学	台湾	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	マレーシア科学大学	マレーシア	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ジャウメI世大	スペイン	・半年 ・1年間	4名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ランス・シャンパーニュアルデンヌ大学	フランス	・半年 ・1年間	若干名	十分な仏語能力を有すること (CEFR B2以上)	※	○
	ルートヴィクスハーフェン経済大学	ドイツ	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ライブツィヒ応用科学大学	ドイツ	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分なドイツ語能力、または英語能力を有すること	※	○
	貿易大学	ベトナム	・半年 ・1年間	3名	現地の学生と共に受講するのに十分なベトナム語能力、または英語能力を有すること	※	○
プリンスオブソングラー大学	タイ	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分なタイ語能力、または英語能力を有すること	※	○	
短期研修・実習	ルートヴィクスハーフェン経済大学サマースクール研修	ドイツ	3週間(8月)	10名程度	学部生に限る ある程度の英語能力を有する学生	※	○
	中国短期語学研修	台湾	2週間(9月)	5名~10名程度	原則として、 中国語を履修していること、 または、履修した経験があること	※	×
	台北護理健康大学サマープログラム	台湾	2週間(8月)	6名	ある程度の英語能力を有する 医学部・薬学部の学生	※	○
	韓国語短期研修	韓国	2週間(8月・2月)	10名程度	原則として、 韓国語を履修していること	※	×
	カルガリー大学付属語学学校短期研修	カナダ	4週間(8月)	最大15名	ある程度の英語能力を有する 学生	※	○
	ミシガン州立大学短期研修	アメリカ	4週間(2月)	最大15名	ある程度の英語能力を有する 学生	※	○
	ジャウメI世大短期研修	スペイン	3週間(9月)	10名程度	ある程度の英語能力を有する 学生	※	○
インターン	国連食糧農業機関(FAO)インターンシップ	全世界のFAOオフィス	3ヶ月~	若干名	国際機関での業務遂行に十分な英語コミュニケーション・調整能力を有する者 TOEIC850点以上相当を有する者	学部4年生以上が望ましい 単位認定なし	○

※単位認定は所属する学部・研究科の定める手続きに従う

## 各学部・各研究科募集のプログラム

	派遣対象学部・学科	国名・地域名	プログラム名	派遣期間	派遣人数	応募要件等	備考	奨学金対象
交換留学	経済学部・人文社会学部(2年生以上) 経済学研究科 人間文化研究科	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学(UNSW)交換留学	9ヶ月間 (2月下旬~11月)	2名	TOEFL iBT90、またはIELTS6.5を有する者	原則として 単位認定有	○
	芸術工学部(3年生以上) 芸術工学研究科	イタリア	トリノ工科大学交換留学	・半年 ・1年間 (現地大学の春学期もしくは秋学期)	5名程度	TOEFL iBT72、またはIELTS5.5を有する者が望ましい	原則として 単位認定有	○
	経済学部・ 経済学研究科	ドイツ	ハノーファー大学交換留学	・半年 ・1年間 (現地大学の春学期もしくは秋学期)	2名	TOEFL iBT72、またはIELTS5.5を有する者	原則として 単位認定有	○
派遣留学	経済学部・人文社会学部(2~4年生)	イギリス	クイーンズ BISC(国際学習センター)派遣留学	夏学期: 6月中旬~7月中旬 秋学期: 9月上旬~12月中旬	10名程度	TOEFL iBT80、IELTS6.5、 TOEIC700点を有する者 ※R7年度は実施せず	原則として 単位認定有	×
	人文社会学部 国際文化学科 2年生以上	アメリカ	バックネル大学日本語ティーチング・アシスタント(TA)奨学生制度	9ヶ月間 (8月中旬~翌年5月中旬)	1~2名	TOEFL iBT100以上が望ましい	単位認定なし	×
短期研修・実習	医学部医学科3年生(派遣時)	海外協定校	海外協定校での基礎自主研修	約3か月間	若干名	書類審査、面接にて選考	医学部医学科3年生の 基礎自主実習と同等のもの と認める	○
	医学部医学科6年生(派遣時)	海外協定校	海外協定校での選択制臨床実習	2~4週間	若干名	書類審査、面接にて選考	医学部医学科6年生の 臨床実習・ 学外病院(選択制)と同等のもの と認める	○
	薬学部5年生以上・ 薬学研究科	アメリカ	南カリフォルニア大学(USC)臨床薬学研修	4週間	10名	応募者多数の場合は、 TOEIC等の成績により選考	原則として 単位認定有	○
	医学部保健医療学科 看護学専攻2~4年生	韓国	ハルリム大学短期看護研修	1週間(9月上旬)	6名	海外での看護、教育、 医療事情を学ぶ意欲があること	隔年で実施	○
	医学部保健医療学科 看護学専攻2~4年生	東ティモール	パーツ大学短期地域保健実習	1週間(3月中旬)	4名	海外での保健事情、 社会事情を学ぶ意欲があること	隔年で実施	○
医学部保健医療学科 看護学専攻3年生	海外協定校	看護研究1実習研修	2~3週間	1~2名	書類審査、面接にて選考	看護学専攻3年生の 看護研究1実習と同等のもの と認める	○	
インターン	経済学部・人文社会学部	アメリカ	バレンシア(ディズニー)国際カレッジプログラム	約6ヶ月間 (8月~翌年1月) (2月~8月)	選考による	・プログラム開始時において 第1学年の課程を終えていること ・TOEIC600点以上またはその他の テストで相応のテストスコア を有する者	全国で選考 単位認定は所属する学部・研究科 の定める手続きに従う	×

## 留学・インターンシップ体験談

### 交換留学 × オーストラリア | ニューサウスウェールズ大学

UNSWは世界中から来た仲間と専門的な内容を英語で学ぶという、憧れていた環境そのものでした。英語力を含むコミュニケーションの面などで苦労した点はありませんでしたが、それを乗り越える経験は、日本ではなかなかできません。最終的にはかけがえのない友人もでき、大変貴重な経験であったと思います。この大学の魅力は現地生と留学生が同じ授業を受けるため、現地生のオーストラリア社会への鋭い意見と、留学生から見た社会の見方を同時に学べる点にあると思います。特に、オーストラリアの先住民に関する授業などで、現地生が幼少期に経験した先住民問題に関するイベントを批判的にとらえ返し、より包括的な社会にしていけるために、現地生と留学生が思いをぶつけた議論は大変興味深かったです。様々な文化や背景を持つ人々との交流により、自分の立場を位置づけ直したとともに、視野が広がりました。また、世界ももっと近く感じるようになりました。



人文社会学部・国際文化学科

西尾 メイ

派遣期間：2023年2月～12月（10ヶ月間）



### 交換留学 × ドイツ | ルートヴィクスハーフェン経済大学

私が留学を決めた理由は、多文化共生を実際に体験したいという思いからでした。ドイツでは、英語を主に使いながら生活し、少しずつドイツ語にも触れるという珍しい環境で日々を過ごしました。英語を使ってドイツ語を学ぶという体験も貴重で、楽しかったです。大学や寮では、世界中から集まった留学生たちと交流する機会が多く、それぞれの国の文化や社会問題について知るたびに、世界の出来事が他人事では無く、自分にも関わることなのだ強く感じるようになりました。このように、異なる背景をもつ友人たちとのディスカッションや共同作業で、価値観が広がったことが印象的です。留学中に築いた友情はかけがえのないもので、帰国後も連絡を取り合い、お互いの近況を共有し続けています。

大変なこともありましたが、自分の世界を広げるよい経験になったと思います。

人文社会学部・国際文化学科

前川 華乃

派遣期間：2024年3月～7月（5ヶ月間）

### 交換留学 × スペイン | ジャウメI世大学

将来、移民送出地域ラテンアメリカの開発協力を携わりたいという思いから、欧州第二の移民大国であるスペインへの留学を決めました。

ジャウメI世大学への交換留学を通じて、スペイン語を習得するのはもちろんのこと、スペイン語圏の歴史や文化への理解を深めることができました。また、私自身が外国人として生活するだけでなく、ラテンアメリカ出身の家族とともに休日を過ごすことで、そこで暮らす移民の視点を理解しようと努めました。休暇中には、スペイン国内外を長期にわたって旅して、様々な歴史や文化に触れました。

このような経験から、世界のなかの日本人として私自身を見つめ直したり、卒業後のキャリアについて深く考えたりすることになりました。現在は「スペイン語圏の人々との協働を通じて、日本そして現地社会の発展に貢献する」ことを目指し、ラテンアメリカでインターンシップに取り組みます。今回の留学は、私の将来の道筋をよりクリアにするような機会になりました。



人文社会学部・国際文化学科

安藤 詩織

派遣期間：2023年9月～2024年6月（10ヶ月間）

### 交換留学 × イタリア | トリノ工科大学

広い視点の持ち方を身につけるとともに、新しい文化に触れることを目的で留学を決めました。留学先では、デザインに関する授業や学外で他大学の授業の見学、博物館や歴史館に積極的に足を運び、日本国内では得られない体験ができました。

現地の学生らはよく政治や他の国の気になる部分の話をします。自分の生活に直接関わらない部分まで取り上げて休み時間に話したりして、黙っていると「意見ないん？」的なことを言われてしまいます。常に色々なことに意見を持って能動的になることが彼らの行動力の根幹にあるのだと思いました。

知らない人への積極性も違いの一つです。タバコの火を借りるだけで深い会話が生まれます。最終的にインスタを交換したり、今度遊ぼうと約束したり。新しい出会いに積極的な姿勢は、日本ではそう見ない光景だったので新鮮でした。

普段の生活や旅行、友人たちとの会話で得られた情報や経験は、時に授業よりも価値のあるものとなります。そういった面では単位や授業のためでなく、人との関わり方や自分の生き方を探る、海外で働くハードルを下げるために海外留学を選んでみて面白くないかと思っています。



芸術工学部・産業イノベーションデザイン学科

當麻 晟基

派遣期間：2023年2月～2024年2月（1年間）



### 交換留学 × 韓国 | チュンアン大学

私が留学を決意した理由は、勉学面や生活面において自己成長を遂げたいという思いと、自分のルーツである韓国での生活を体験してみたいという思いがあったからです。現地では、経済・経営の授業を英語で、日本語に関する授業を韓国語で受講しました。英語と韓国語を使う環境の中で、自分の未熟さを痛感し、課題やテストの多さに苦しむこともありましたが、そうした経験があったからこそ成長できたと感じています。また、生活面では一人でのやりくりを通じて、親や家族の支えの大切さを深く実感しました。さらに、韓国や日本の友人だけでなく、オーストリアやドイツなど世界各地から来た友人たちとも出会うことができました。韓国の友人の家でのお泊り会や野球観戦、漢江でのピクニックなど、留学ならではの貴重な体験も数多くしました。このようなさまざまな出会いや思い出は、私にとって一生の宝物です。今でもその友人たちとは手紙やSNSを通じて交流を続けており、この留学経験は間違いなく私の人生に大きなプラスの影響を与えてくれました。

経済学部・公共政策学科

清原 ここみ

派遣期間：2024年2月～6月（4ヶ月間）

### 交換留学 × 台湾 | 文藻外語大学

留学期間の5ヶ月は本当にあっという間で、人生の中で大切な経験になりました。

大学の授業は英語・中国語開講の好きな授業を選択します。週に5日2時間ずつの中国語のクラスは、かなり苦戦しましたが、中国語のスキルが大幅に伸び、海外の友達とも仲良くなることができました。

寮は4人部屋で、台湾人3人との生活は上手いかわからないこともありましたが、皆で会話する時間はとても楽しく、いい経験になりました。

留学終了から1年が経った今でも、知り合った海外の友達とは連絡を取り合っています。留学は、観光では知ることのできない現地の日常に入り込むことができます。一人で出かけてみたり、学校周辺を散歩してお気に入りの飲食店を見つけたり、毎日が充実していました。最初は不安だったお店の人との会話も、最後には楽しめるようになりました。留学を通して、自分の視野を広げることができ、これまで持っていた先入観に気づくこともできました。一歩踏み出して留学に行くという選択をして本当に良かったです。



人文社会学部・国際文化学科

石山 友妃

派遣期間：2023年9月～2024年1月（5ヶ月間）

## 留学・インターンシップ体験談

### 交換留学 × タイ | プリンソブソクラー大学

3年生になり就活や将来を考えた際、新型コロナウイルスの流行で心配が多い業界だが観光業に携わりたい気持ちが強く、国を挙げて観光産業に取り組むタイで観光学を専門的に学んでみたいと思い留学を決めた。

留学期間は学習面だけでなく精神面でも大きく成長することができた。留学中は積極的に自分から話しかけないと友達を作れずグループワークにも参加できないが、当初は英語で自分から話しかけることはとてもハードルが高く思え、うなずくことしかできず輪に入らず孤独を感じていた。しかし、いざ話しかけてみると自分の懸念とは反対に皆快く受け入れわからない話も説明してくれる人たちがばかりで「案ずるより産むがやすし」であった。何事も頭をうならせて何もしないより恥をかいてもいいからまずやってみることを今後も大切にしていきたいと思う。

また、学外では最も親しくなったインドネシア人の友人に会いに行き彼女の家を訪問したり、周辺諸国に1人旅しその土地でバックパッカーの友人を作ったりするなど多様な人々と交流することができた。留学期間は人生で最も充実し成長できた10か月だったと感じている。



人文社会学部・国際文化学科

平塚 千穂

派遣期間：2023年8月～2024年5月（10ヶ月間）



### 交換留学 × マレーシア | マレーシア科学大学

私は約半年の留学を通して、マレーシアに対するイメージが大きく変わりました。自分の目標であった英語力の向上はもちろん、多様な文化やバックグラウンドを持つ人たちとの関わりを通して、大きく成長することができました。

学習面ではマレー語などの専門外の講義も受講しました。現地の学生とのグループワークや寮での共同生活、学校のイベントなど様々な機会を通して新しい経験がたくさんできました。特にマレーシアにはムスリムの方が多いため、現地ならではの、日本とは全く異なる生活を体験できました。また、マレーシア科学大学には多くの国から150人を超える留学生が来ており留学生同士の交流の機会も多いため、世界中に友達を作れることも大きな魅力の一つだと思います。

マレーシアは多民族国家のため町中がさまざまな文化で溢れおり、地域ごとに異なる色があるため、旅行に行くことも楽しみの一つでした。食べ物も美味しく、人も温かい人ばかりで、マレーシアが私の大好きな国になりました。

人文社会学部・国際文化学科

塩野崎 萌衣

派遣期間：2024年3月～8月（5ヶ月間）

### 短期研修 × アメリカ | ミシガン州立大学

私はこの研修を通じて、英語力を向上させるためには実際に人と話すことが大切だと学びました。文法などを勉強することも大切ですが、現地でたくさんの人と会話し、また失敗をしても気にせずに話すことで、よりスムーズに意思疎通を図ることができました。また人と関わる機会は最大限に活かし、自ら進んでイベントなどに参加することで、社交性やコミュニケーションスキルを伸ばすことができたと思います。

またこのプログラムではアメリカの大学寮に滞在するため、現地の大学生活を体験できたことも良い経験となりました。現地で日本語を学んでいる学生や日本クラブの生徒、クラスメートの留学生など、現地の学生と交流する機会が多かったため、とても楽しく生活することができました。

実際に留学をすることで、以前より英語を話すことに対し自信が付き、また海外の文化に対する理解を深めることもできました。4週間があつという間に感じるほど、充実した時間を過ごすことができました。



芸術工学部・情報環境デザイン学科

伊奈 恵麻

派遣期間：2024年2月11日～3月10日（4週間）

### 短期研修 × カナダ | カルガリー大学

カナダでの短期研修では、授業や生活の場での実践を通じた英語の練習はもちろん、異文化コミュニケーションやカナダの自然・文化などを体験することができ、充実した4週間で過ごせました。この研修で得た一番の学びは、自分の意見を伝えようとする姿勢が大事である、ということです。ホームステイや授業、さらに世界各国から来た友達と交流するときでさえも、自分の意見を積極的に言うことで、互いの考えをより知ることができたり、互いにとって気持ちがいい関係を構築できたりしました。また、このプログラムは課外アクティビティが多いことが魅力です。休日には、山や湖や滝など、ロッキー山脈の美しい自然を楽しみ、英語を通して友達をたくさん作ることができ、毎日がキラキラしていた4週間になりました。カナダ人の見知らぬ人にも手を差し伸べる優しさや、クラスメイトの積極的に意見を言う姿勢は、これからも見習っていきたいです。



人文社会学部・国際文化学科

森村 水咲

期間：2024年8月6日～9月1日（4週間）



### 派遣留学 × アメリカ | バックネル大学 日本語ティーチングアシスタント (TA) 奨学生制度

Teaching is Learning! 先生として働きアメリカ人学生に日本語を教える経験と、留学生として学問を学ぶ経験を同時に得られるこの留学制度は、本当に貴重だと思います。TAの仕事の醍醐味は、生徒のニーズと教授の教育理念の両面を汲み取りながら、自分で考えた授業内容を実践できることだと思います。生徒たちが日本語の力を着実に伸ばし、成長していく姿を間近で見られる瞬間は、何にも代えがたい喜びです。

留学中は、プログラミングと教育学を学びました。専門用語を英語で理解する難しさに直面することもありましたが、予習・復習を徹底し、分からない部分は友人や教授に積極的に質問することで少しずつ理解を深めました。

バックネル大学は多様性と可能性に満ちた環境です。様々なバックグラウンドを持つ学生との交流や、世界各国のTAとの共同生活は、今の私の人生に大きな影響を与えています。この留学経験を通じて培った国際的視野、マネジメントスキル、課題解決力は、今後も必ず生きてくると思います。

人文社会学部・国際文化学科

大和 礼奈

期間：2023年8月～2024年5月（9ヶ月間）

### インターンシップ × イタリア | 国連食糧農業機関 (FAO)

大学での研究の経験を活かして、疫学研究や公衆衛生上の問題に取り組みたいと思い、国連食糧農業機関のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップではアフリカ地域における気候と感染症のリスク評価に関する分析をさせていただきました。普段の生活では耳にしない熱帯感染症に多くの人が苦しんでおり、地球温暖化に伴い健康リスクが増加しうることを痛感いたしました。そして、当インターンシップを通して公衆衛生学をより専門的に学びたいと思うようになり、公衆衛生大学院に進学することになり、この経験は自分の人生を大きく変えるものになりました。また、実際にローマでの生活や文化を知れたこと、そして、現地で出会った出来事や人々は人生の宝物です。

海外での一人暮らしや言語による不安はあるかもしれませんが、それに挑戦することは皆さんにとってもかけがえのないものになると思います。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。



薬学部・生命薬科学科

村崎 亘

派遣期間：2022年11月～2023年3月（4ヶ月間）

## トビタテ! 留学JAPAN 新・日本代表プログラム

このプログラムは2014年からスタートした「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」の第2ステージとして2023年から開始された産学官協働の海外留学支援制度です。産学官が一体となってグローバル人材育成を目指すプログラムで、コロナ禍で落ち込んだ留学者を2027年度までに少なくともコロナ前の水準に回復することを目指す計画です。

### プログラムの特徴

- 支援企業: 団体からの寄附による返済不要の留学奨学金を給付  
奨学金: 月額6~16万円(留学先地域により異なる) 渡航費: 15~25万円(留学先地域により異なる) 授業料: 一律30万円
- 留学期間: 28日以上1年以内(3か月以上推奨)で自由に計画可能
- 学生が自ら組み立てた、単位習得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップ、ボランティアなどの実践活動を含む多様な留学計画を支援。

### 募集について

募集回数: 年1回 募集時期: 例年12月頃~2月頃

申請書類提出期限: 学内掲示板等に記載されている学内の提出期限を必ず確認し、期限内に国際交流センターへ提出してください。

※詳細は以下の名古屋市立大学ホームページ及びトビタテ! 留学JAPANホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 奨学金(海外留学関係)

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 現在募集中のプログラム

トビタテ! 留学JAPANホームページ <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/>

## 留学費用について

※プログラム代などの変動などもあるため、下記金額はあくまでも参考例です。また航空運賃等も季節により異なるため、変動いたします。

### 例1 ルートヴィクスハーフェン経済大学 交換留学(期間:1年)

- ◆ 渡航費: 25万円 ◆ 保険代: 20万円(保険加入がビザ取得の条件となっているため)
- ◆ 生活費: 40~60万円(生活スタイルにより異なります) ◆ 学生寮: 50~60万円(学生寮やルームシェア等)

### 例2 ルートヴィクスハーフェン経済大学 サマースクール研修(期間:3週間)

- ◆ プログラム料金(寮費・授業料・その他参加費等): 33万円 ◆ 渡航費: 25万円

### 例3 ミシガン州立大学短期研修(期間:4週間)

- ◆ プログラム料金(授業料・宿泊代・その他): 60万円
- ◆ 渡航費(航空券・燃油サーチャージ・VISA取得費及び代行サポート料): 43万円 ◆ 諸雑費(海外旅行保険等)

### 例4 ハルリム大学交換留学(期間:4ヶ月半)

- ◆ 渡航費: 5万円 ◆ 生活費: 20万円+余暇費用 ◆ 寮費: 8~13万円(+6千円で布団リースあり) ◆ 保険: 5万円強

### 例5 文藻外語大学交換留学(期間:4ヶ月半)

- ◆ 渡航費: 8万円 ◆ 生活費: 15万円+余暇費用
- ◆ 寮費: 学生寮の場合は6万円/半年、学外の1人部屋の場合は14~17万円/4ヶ月半 ◆ 保険: 4万円強/5ヶ月

### 例6 クイーンズBISC(国際学習センター)派遣留学(期間:3カ月)

- ◆ 渡航費 ◆ 授業料: 170万円(学費に宿泊費・食費・スクールトリップ代含む)

留学に関心のある方は、ぜひ交換留学プログラム説明会や留学フェアにご参加ください。

実際に留学した学生の話をもっと聞けるので、とても参考になると思います。

## 学内の留学サポート

### 名古屋市立大学後援会からの渡航費サポート(学部生のみ)

大学間交流協定または学部間等交流協定に基づいた協定先大学への派遣は、名古屋市立大学後援会からの奨学金の対象となりますのでご活用ください。

### 支援内容

交換留学、留学プログラムに基づく本学協定校への短期研修・実習: 上限15万円  
上記以外の本学協定校への短期派遣: 上限3万円

※支給にあたって審査があります。また奨学金の予算状況等により金額が変更となる場合があります。

※詳細は以下の名古屋市立大学ホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 奨学金(海外留学関係)

### JASSO海外留学支援制度奨学金

名古屋市立大学から協定校への交換留学が、2025年度日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)に採択されました。2025年度に開始する交換留学プログラムの参加者の中から、奨学生として採用された学生は、留学期間中毎月8万円から11万円の奨学金が受けられます。交換留学を検討している方は、ぜひご利用ください。所定の期間に申込があった学生を対象に書類審査を実施し、選考の上奨学生を決定します。詳細については国際交流センターにお問い合わせください。

※詳細は以下の名古屋市立大学ホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 奨学金(海外留学関係)

### 国際学会発表等支援事業

本学の大学院生等が、海外で開催される国際学会で研究発表、海外での共同研究、海外で研究指導を受ける際の渡航費を、アジア地域15万円、それ以外の地域30万円を上限として支援します。

### 2025年度 申請受付日程

	申請受付期間	旅行開始日
第1次	~2025年 2月21日	2025年 4月1日~
第2次	2025年 5月1日~2025年 5月30日	2025年 7月1日~
第3次	2025年 8月1日~2025年 8月29日	2025年10月1日~
第4次	2025年11月4日~2025年11月28日	2026年 1月1日~

※詳細は以下の名古屋市立大学ホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 国際学会発表等支援事業

## 語学学習

国際交流センターでは、パソコン、スマートフォンやタブレットで学べるe-ラーニングによる語学学習の提供や語学教材の貸出・閲覧等を行っています。

### e-ラーニングによる英語学習

学部生は目的とレベルに応じて、1コースを受講開始月から1年間受講できます。年2回の募集で、前期は3月1日～3月15日(4月1日より受講開始)、後期は9月1日～9月15日(10月1日より受講開始)です。最終学年の学生が後期に申し込んだ場合は、受講期間が半年となります。

CEFR-Jレベル TOEIC®L&Rテスト	Pre A1	400	A1.2	500	A2.1	600	B1.2	700～
	入門		初級		中級		上級	
総合英語トレーニング初級コース	■							
総合英語トレーニング中級コース			■					
総合英語トレーニング上級コース					■			
TOEIC®L&Rテスト 500・600・730点突破コース (スコアに応じて3コース)	■ 500点対策		■ 600点対策		■ 730点対策			
TOEFL ITP®テスト攻略コース	■							
基礎からの英文法トレーニングコース	■							
医学・医療英語コース	■							
PowerWords Hybrid コース	■ Level 01	■ Level 02	■ Level 03	■ Level 04	■ Level 05	■ Level 06		
英単語パワーアップコース TOEIC® テスト編	■ 初級			■ 中級		■ 上級		
英単語パワーアップコース TOEFL®テスト編	■							
英単語パワーアップコース 理工編	■							
英単語パワーアップコース 医学・医療編	■							

株式会社アルクの資料より抜粋

ぜひ  
活用を

### 資格取得支援制度

自主的な学習活動を促すため、資格試験(本学が定めた資格)に合格した学生に、受験料の全額を補助する制度です。

＜語学関連補助対象資格＞ TOEIC650点以上・TOEFL iBT69点以上・実用英語技能検定準1級及び1級・IELTS(レベル6以上)

同一資格についての申請は在学期間を通じて1回限りです。

資格取得支援制度 大学HPリンク 名古屋市立大学トップ>キャリア・就職>免許・資格取得>資格取得支援制度

### 英語自主学习センター(SALC)

サルク:Self-Access Learning Center

SALCは学生一人ひとりが自主的に英語を学ぶためのスペースとして開設されています。

開催場所:滝子キャンパス2号館 1階

詳細は以下のSALC関係ページを参考にしてください。

SALC関係ページ URL:https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/salc.html

オンラインで語学講師と相談できる「IOC」も開設されています。

予約方法など詳細は以下のURLの「WELCOME TO INDIVIDUAL ONLINE CONSULTATIONS (IOC)」を参考にしてください。

IOC関係ページ URL:https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/ioc.html

## 外国語の各種資格検定

留学にあたっては、語学要件が課されるなど一定の語学力が必要になるケースがほとんどです。例えば交換留学の場合、英語圏については出願時にほとんどの大学でTOEFLやIELTSのスコアが必要になります。また、初修外国語圏であれば、その国の言語をできるだけ学習しておくことが重要になります。計画的な外国語学習に努めましょう。

### TOEIC

英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。ListeningとReadingの2つのセクションで構成されており、10点から990点までのスコアで評価されます。企業における活用(新入社員の英語能力測定や昇進・昇格の要件)や学校における活用(授業の効果測定やプレイスメント)等において幅広く使用されています。試験は年間10回以上実施されます。

### IELTS

海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方やイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に最適なテストです。Listening, Reading, Writing, Speakingの4つの分野がスコアで示されます。ペーパー版の試験は月4回程度実施されます。

### 漢語水平考試 (HSK)

中国政府が公認する中国語検定で、世界共通基準の資格です。就職・昇進、留学、自己学習など様々なシーンで活用できます。初級レベルの1級から上級レベルの6級まで、細かく6段階に級分けされています。各試験の結果は、聞き取り・読解・記述のそれぞれの分野別にスコア点数で表記され、詳細な中国語能力を把握できます。試験は年6回程度実施されます。

### ドイツ語技能検定試験

ドイツ語学習者の実力を測る日本で唯一のドイツ語の検定試験です。1級から5級まであり、準1級と1級は2次試験があり、発音とイントネーション・文章構成能力・描写能力・コミュニケーション能力などが審査対象となります。試験は年2回(夏と冬に)実施されます。

### TOEFL iBT

大学レベルの英語を使用および理解する能力を測定します。さらに、Listening、Reading、Speaking、Writingの各スキルを組み合わせて、学術的な課題を遂行する能力も評価します。英語能力の習熟度を判断する目的で、Higher Education機関に留学予定の学生や奨学金や証書授与の候補者などを対象にしています。試験は年間50回以上実施されます。

### 英検

世界各国の教育機関で海外留学時語学力証明資格に認定されています。試験問題は、Listening, Reading, Writing, Speakingのバランスを重視し英検は学習レベルに応じて7つの級を設定しています。筆記、リスニング、スピーキングのテストがあります。試験は可否で判定されます。試験は年3回実施されます。

### 韓国語能力試験 (TOPIK)

韓国語能力試験は、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語(ハングル)試験です。2006年度から試験問題が、従来の1～6級の6種類より初級・中級・上級の3種類へと絞り込まれ、成績に応じて振り分けられるシステムに変わりました。試験は年3回実施されます。

### フランス語学試験 (DEL F・DAL F)

DEL F・DAL Fはフランス語能力を測る試験で、フランス国民教育省が認定した唯一の公式フランス語資格です。レベルはDEL FがA1 A2 B1 B2の4レベル、DAL FがC1 C2の2レベルに分かれています。試験は年2回(春と秋に)実施されます。



## 留学生との交流

### チューター(外国人留学生特別指導員)制度

チューターとは、本学の留学生を勉強面や生活面でサポートする学生のことです。本学では、留学生は在学する最初の半年間、1人のチューターとペアを組むことができます。日常生活でのサポート(例:大学内や区役所での各種手続きなど)、授業内容の助言等がチューターの仕事です。年2回国際交流センターで募集を行いますので、語学力向上や異文化理解の機会としてぜひ活用ください。



#### チューターを経験して

半年間、中国からの交換留学生リュウさんのチューターを務めさせていただきました。履修登録や区役所での住民登録など、大学や日本での生活のサポートの他に、1人の友達として大学と一緒に昼ごはんを食べて日本語と中国語の言語交換をしたり、放課後にはカラオケに行ったりと、とても楽しい時間を過ごしました。チューター制度では、留学生と友達になれて世界のことを知れる貴重な経験ができるので、少しでも気になる方はぜひ挑戦してみてください。

(人文社会学部 森村 水咲)

### 外国語 Talk Time

外国語トークタイムでは、留学生とお昼ご飯を食べながら外国語で会話を楽しむことができます。学部や学年が違う学生とも親しくなることもでき、学内で国際交流ができる大変良い機会です。興味のある方は、ぜひご参加ください。

#### 中国語 Talk Time



#### ドイツ語 Talk Time



#### 韓国語 Talk Time



### 留学生交流会(6月)・留学生ウェルカムパーティ(10月)



国際交流センターでは、新しく名古屋市立大学に入学した留学生を歓迎する為に、留学生後援会、留学生会、国際交流センター公式団体「NCU GO!」「よいしょ」の共催により、「留学生交流会」を毎年開催しています。2024年度は、6月と10月の2回開催することができ、留学生・日本人学生・教職員等合わせて150名以上が参加しました。山の畑キャンパスの生協食堂で開催され、各国からの留学生による母国紹介プレゼンテーションや、チームに分かれてのクイズ大会等が行われとても盛り上がり、交流を深めました。

### NCU GO!



X



Instagram

NCU GO! は滝子キャンパスを拠点に活動する、国際交流サークルです。留学生と日本人学生の交流のためのイベントを企画しています。ウェルカムパーティーや、季節に合わせたパーティー、大学を飛び出してお出かけする企画など、楽しいイベントが盛りだくさんです! イベント情報は学務情報システムや国際交流センター前、Instagram (@ncu\_go) で随時お知らせしています。特にInstagramでは最速で情報を発信しておりますので、ぜひフォローしてお待ちください♪

#### <活動の様子>

##### Welcome party



トークタイムや楽しいゲーム、ビンゴ大会などを通じて留学生と交流を深めました。多くの留学生や日本人学生にもご参加いただき、パーティーを盛り上げることができました。

##### BBQ party



夏には庄内緑地公園でBBQを行いました! ご飯を作りながら、おしゃべりをして交流を深めました!

##### Christmas party

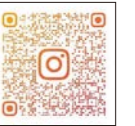


冬にはクリスマスパーティーを実施しました! ケーキを作ったり、持ち寄ったゲームで遊んだり、おしゃべりを楽しんだり、みなさん賑やかで楽しい時間を過ごすことができました!

### 日本語教室サークル「よいしょ」



Instagram



「よいしょ」は留学生が日本語を学ぶことをサポートするサークルです。日本人の学生が、日本語の宿題や復習を一緒に行ったり、授業のレポートの添削をしたりしています。また、私達と話すだけでも日本語の練習になると思うので気軽に遊びに来てください。活動日程はInstagram (newyoisho\_ncu) で発信しています。また、現在、サークルを運営するメンバーも募集しています。興味がある日本人学生は連絡をください! 皆さんと楽しく日本語を勉強できることを楽しみにしています!

#### <活動の様子>



授業の空きコマに活動を行っています。「友達を作りたい」や「日本人学生と交流したい」という理由で「よいしょ」の活動に参加する留学生が多いので、色々なトピックで自由に会話することが多いです。また、授業のレポートの日本語の添削を「よいしょ」に頼む留学生もいます。その際に、日本人学生も日本語の特徴や母語について説明する難しさなどを感じており、留学生にとっても日本人学生にとっても学びの場となっています。

## 2024年度 国際交流センター活動報告

### 留学生と地域の交流

#### ●鶴舞中央図書館にて「せかいのこぼれおはなし会」

鶴舞中央図書館主催、名古屋市立大学国際交流センター協力によるイベントで、2014年から毎年開催されています。名古屋市立大学の留学生がそれぞれの出身国等の言葉で日本の子どもたちに読み聞かせを行い、交流を深めます。(写真左)

#### ●小・中学校、高校訪問「留学生との交流」

本学留学生が小・中学校、高校をそれぞれ訪問して、各学校の生徒と交流します。留学生が母国の食、文化、暮らしなどについて紹介し、生徒たちからは日本文化の紹介やレクリエーションの時間が設けられ、お互いに大いに交流をします。(写真右)

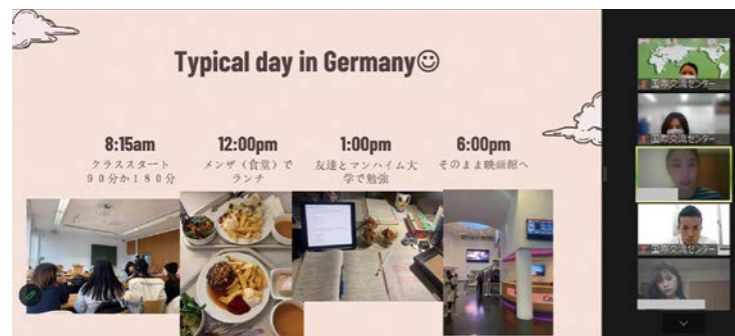


鶴舞中央図書館にて「せかいのこぼれおはなし会」



小学校訪問「留学生との交流」

### オンライン留学フェアを開催しました



名古屋市立大学の留学についての情報をお伝えする「留学フェア」を、2024年7月と2025年2月にオンラインで開催し、多くの日本人学生が参加しました。留学を実際に体験した学生から留学体験談や現地の情報等貴重な話を聞くことができ、参加した学生は、熱心に耳を傾け、質問したりしていました。

### 2024年度年間スケジュール

前期		後期	
4月		10月	留学生ウェルカムパーティ
5月	ウェルカムパーティ (NCU GO!)	11月	猪子石小学校・平子小学校訪問・瑞穂区民まつり
6月	留学生交流会 松原小学校・柳小学校訪問	12月	「せかいのこぼれおはなし会」鶴舞中央図書館 戸田小学校・西味鏡小学校・汐路小学校・西陵高校訪問 クリスマスパーティ (NCU GO!)
7月	留学フェア 西陵高校・前山小学校訪問 茶道体験会 (NCU GO!)	1月	清水小学校訪問
8月	バーベキューパーティ (NCU GO!)	2月	留学フェア
9月		3月	

## 名古屋市立大学 国際交流協定校一覧

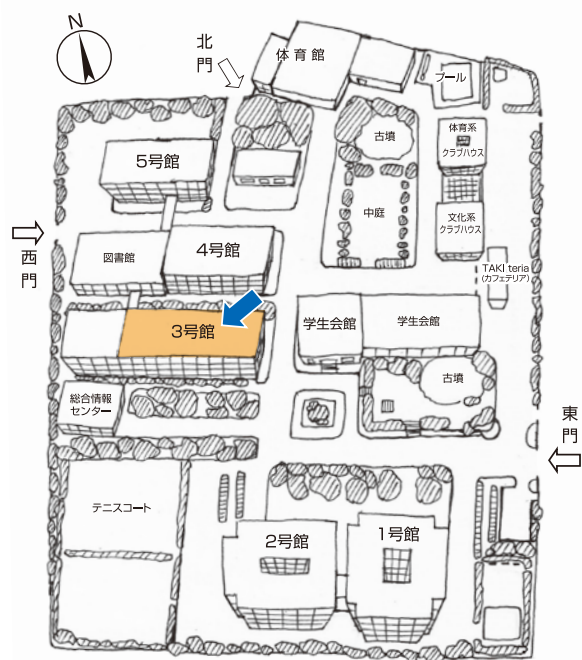
大学間交流協定 59大学

学部間交流協定 21大学

2025年1月末現在

大学間・学部間交流協定		
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	The University of New South Wales
	ボンド大学	Bond University [医学研究科・医学部]
	南カリフォルニア大学	The University of Southern California
アメリカ	ウィチタ州立大学	Wichita State University
	メリーランド芸術大学	Maryland Institute College of Art (MICA) [芸術工学部]
	ミシガン大学	University of Michigan [薬学部]
	ミシガン州立大学	Michigan State University
カナダ	ウェスタン大学	University of Western Ontario
	カルガリー大学	University of Calgary
	トリノ工科大学	Politecnico di Torino
イタリア	パドヴァ大学	Università degli Studi di Padova
	ヴェローナ大学	University of Verona
フランス	パリ第13大学	Université Paris Nord 13
	サンテティエンヌ大学 アート・デザイン学校	Saint-Étienne Higher School of Art and Design (ESADSE)
	モンペリエ・ポール・ヴァレリー大学	Université Paul-Valéry Montpellier 3
	ランス・ジャンパーニュ・アルデンヌ大学	Université de Reims Champagne-Ardenne
ドイツ	ライプツィヒ応用科学大学	Hochschule für Technik, Wirtschaft und Kultur Leipzig
	ルートヴィクスハーフェン経済大学	Ludwigshafen University of Applied Sciences
	ハノーファー大学	Leibniz University Hannover [経済学部]
	ハレ・ヴィッテンベルク・マルティン・ルター大学	Martin-Luther-University-Halle Wittenberg [人文社会学部]
ハンガリー	ペーチ大学	University of Pécs
スペイン	マドリッド工科大学	Universidad Politécnica de Madrid
	バレンシア大学	Universidad de Valencia
	ジャウメI世大学	Universitat Jaume I
イギリス	ノッティンガム大学	University of Nottingham [芸術工学部]
	オックスフォード大学薬理学研究所	Department of Pharmacology, University of Oxford [医学部]
	西スイス応用科学技術大学	University of Applied Sciences and Arts Western Switzerland [芸術工学部]
ルーマニア	ブカレスト工科大学	University Politehnica of Bucharest
ベルギー	ルカスクールオブアーツ	LUCA School of Arts [芸術工学部]
ポーランド	ヴロツワフ美術大学	The Eugeniusz Geppert Academy of Art and Design in Wrocław [芸術工学部]
中国	南京医科大学	Nanjing Medical University
	瀋陽医学院	Shenyang Medical College
	中央民族大学	Minzu University of China
	瀋陽薬科大学	Shenyang Pharmaceutical University
	黒竜江中医薬大学	Heilongjiang University of Chinese Medicine
	常州大学	Wenzao Ursuline University of Languages
	天津中医薬大学	Tianjin University of Traditional Chinese
	中国薬科大学	China Pharmaceutical University
	中国東北林業大学	Northeast Forestry University
	南京曉庄学院	Nanjing Xiaozhuang University
	曲阜師範大学	Qufu Normal University
	中国美術学院	China Academy of Art
	文藻外語大学	Wenzao Ursuline University of Languages
	台北医学大学	Taipei Medical University
台湾	国立成功大学	National Cheng Kung University [医学部]
香港	国立台北護理健康大学	National Taipei University of Nursing and Health Sciences
	台北市立大学	University of Taipei
	香港浸会大学	Hong Kong Baptist University [薬学部]
韓国	香港大学	The University of Hong Kong [薬学部]
	ハルリム大学	Hallym University
	南ソウル大学	Namseoul University
	忠南大学	Chungnam National University [芸術工学部]
フィリピン	檀国大学	Dankook University [薬学部]
	梨花女子大学校薬学大学	Ewha Womans University [医学部]
	漢陽大学	Han Yang University [医学部]
	チュンアン(中央)大学	Chung-ang University
タイ	サント・トマス大学	University of Santo Tomas
	デ・ラサール大学	De La Salle University, The Philippines [人間文化研究科]
	フィリピン大学マニラ校	University of the Philippines Manila
マレーシア	ヴィサヤ州立大学	Visayas State University
	タマサート大学	Thammasat University
	プリンスオブソングクラ大学	Prince of Songkla University
ベトナム	タマサート大学・チュラボン国際医学部	Thammasat University, Chulabhorn International College of Medicine [医学部]
	コンケン大学	Khon Kaen University [医学部]
モンゴル	マレーシア国民大学	Universiti Kebangsaan Malaysia
	アラブ首長国連邦	Management and Science University
トルコ	マレーシア科学大学	Universiti Sains Malaysia
	インドネシア	ベトナム国立大学ホーチミン校
東ティモール	貿易大学	Foreign Trade University
	ウズベキスタン	ベトナム国立がんセンター (K病院)
インドネシア	国立モンゴル医科大学	Mongolian National University of Medical Sciences
	ジャルジャ大学	University of Sharjah
東ティモール	ハジェテペ大学	Hacettepe University
	セントラルアジア大学	Central Asian University
ウズベキスタン	ハサヌディン大学	Universitas Hasanuddin
	ブラウウィジャヤ大学	Universitas Brawijaya
インドネシア	パーツ大学	Universidade de Paz
	タシケント医学アカデミー	Tashkent Medical Academy
インドネシア	タンケント薬科大学	Tashkent Pharmaceutical Institute
	バックネル大学	Bucknell University
イギリス	クイーンズ大学BISC(国際学習センター)	Queen's University (The Bader International Study Centre)
スタディーアブロードプログラム		
アメリカ	バックネル大学	Bucknell University
イギリス	クイーンズ大学BISC(国際学習センター)	Queen's University (The Bader International Study Centre)
インターンシッププログラム		
全世界のFAOオフィス	国連食糧農業機関 (FAO)	Food and Agriculture Organization of the United Nations
アメリカ	バレンシア(ティズニー)国際カレッジプログラム	Valencia College

## 国際交流センターへのアクセス



場所: 滝子キャンパス 3号館1階  
開館: 月曜日～金曜日 9:00～17:00  
(休業期間も原則として開館します。祝日・年末年始を除く)

留学・奨学金/イベントの最新情報はコチラ!

